

課題名：生態系サービス・社会経済影響を考慮した生物多様性オフセットの総合評価手法の研究

氏名：林希一郎

機関名：名古屋大学

### 1. 研究の背景

世界的に多様な生物や自然環境が開発行為などを通じて急速に失われている。開発等により失われる自然と同等な自然を別の場所につくる(または保護区として永久に保護していく)ことにより、自然や生物生息地を守るための政策が多くの国で導入されている。これは生物多様性オフセットと呼ばれる。本研究では、生物多様性オフセットのひとつの手法として導入されている生物多様性バンクに着目した。

### 2. 研究の目標

本研究では、生物多様性バンクの評価にあたり、生み出される自然や生物生息地、これらの自然や生物生息地がもたらす様々な恵み、周辺地域への経済社会影響などを総合的に考慮する手法の研究を行う。

### 3. 研究の特色

生物多様性バンクの評価では、湿地の機能や絶滅危惧の生物種やその生息地の保全を主眼としたものが多いが、生物多様性バンクが有するさまざまな価値が十分評価されているとはいえない。本研究は特にこの点に着目した。現在、生物多様性バンキングについて、米国、豪州の仕組みの中で考慮されている自然環境・生物多様性の評価手法などについて、制度や事例の整理を実施している。また、国内のある地域での事例研究のために、生物多様性や生態系サービスの重要度や価値に関する社会科学的研究、生物種や生態系サービスの評価に関する研究などを組み合わせた研究を実施している。

### 4. 将来的に期待される効果や応用分野

自然環境を保全していくために、生物多様性に配慮した経済社会をつくっていく必要があり、本研究は経済と環境の調和を目指した生物多様性政策の検討に資することを目指している。

# 経済・社会影響

生物多様性バンク全体の価値

生態系サービス

生態系サービス

生態系サービス

普通種の多様性や  
その生息地の価値

湿地や貴重種の  
生息地の価値

(通常の生物多様性バンク  
で考慮される範囲)



様々な生物多様性劣化の圧力

